

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

Growing

December 2015
Vol. 40
毎月10日発行



中学3年間で最も重要な三者懇談会が始まります。

高木 秀章 (塾長)

すっかり寒くなり、今年もあと1カ月。1年は本当に早いですね。今、私達は受験生の進路指導に大忙しです。今年は受験制度変更の初年度ということもあり、11月から私立の先生方とお話しをする場を設け、今回の懇談会の準備をしてきました。

毎年、寒さが増すとともに、子供達の表情は凛々しく大人びてきます。私は自分と向き合って頑張る彼らのそんな顔が好きです。

「受験って何のためにあると思う？」

先日、お昼から自習に来ている子供達に何気に聞きました。こんな話に答えるのは、思春期の子供達にとって恥ずかしいかなと内心思いましたが、「忍耐力をつけるため」と一人の子が口火を切ると、「努力の大切さを知るため」「好きなことを我慢して勉強することで自制心をつけるため」としっかりした答えが次々に返ってきました。「いい高校に行って、いい大学に行って、いい企業に就職するためではないの？」と私が言うと、「違う。テストは紙に対して。社会は人だから、学歴は関係ない」と

いう返事が。中には「人間は自分が変わろうと思った時に変わる」といった意見も。彼らは受験勉強で第一志望校合格を目指しながらも、「勉強が全てではなく、苦難と向き合い努力を続ける姿勢こそが社会を生きる力になる」ということがわかっています。きっと、彼らはこの先、世の中に出た後も、強く歩んでいくに違いありません。この話を聞いた生徒はクラブを頑張っている活発な子供達ですが、教育講演会や私達が授業で話すことなどもきちんと受け止めてくれているのだと思います。そのような意味では、私達大人が子供達としっかり向き合っていくことは意義のある事だと思います。

受験は子供達にとって「自分の努力によって進路の選択を行う、人生で数少ないチャンス」です。そして、12月はその選択を行う大切な1カ月です。当塾では三者懇談会を通じて、入試データを用い、志望校への合格可能性やより良い進路についてのお話をさせていただきます。そして、その際、面談で使用した入試データをご家庭での相談材料としてお渡します。



家庭内では、保護者の方のご意向もお話いただき、最後はしっかり本人に受験校を決定させて下さい。その決定には、「後になって後悔はしない。自分の責任で行う。」という「覚悟」が必要です。自立とは、この「責任」と「覚悟」を背負っていくことに他ならないと思います。その一歩が受験での志望校決定であると私は思います。

今年度は入試制度も変更され、ご心配も多いことと思います。ご不安なことやよくわからないこと、学校について調べてほしいことがある場合、遠慮なく各教室にご連絡ください。また、再度、面談して欲しい場合もおっしゃっていただければ対応いたします。

受験まで残り3カ月。まだ学力は伸ばせます。最後の最後まで、子供達の努力が結果として実を結ぶよう、全力でサポートさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



CLASSROOM REPORT 教室レポート

今年を振り返って
今福教室・小学部

熊谷 真宏 (今福教室)



今年も1年があっという間に過ぎ去り、残すところあと1カ月となりました。皆さんはこの1年を振り返ってみてどうでしょうか？1年を通じて何か1つだけでも、ほんの少しだけでも、成長できたと思えることはありますか？もし自分では「あまりないかなあ」と思っている、先生達の目から見ると、「この子達はここが変わったな」と思うところがたくさんあります。今回はそのようなところにスポットを当てながら、今福教室の小学部の様子を紹介したいと思います。

まずは4年生。春に入塾してきた時と比べると、大きく成長しました。毎年のことですが、春先は、「この子達、ちゃんとやっつけられるのだろうか…」と少し心配になってしまいます。でも、その心配もよそに、時間が経つにつれて勉強の仕方を理解し、宿題もしっかりとやってくるようになり、コツコツ勉強する姿勢が身についてきました。私は国語を担当していますが、毎週行う漢字テストでは、各々が自分で決めた目標点を目指して頑張ってくれています。毎回ゲーム感覚で行っている辞書引きでは、知らず知らずのうちに調べるスピードがみんな格段に上がりました。また、今までたくさん調べた努力の証として、各々の辞書がマーカーの色付けやら付箋だらけになっています。とても嬉しい事です。

次に5年生。少しずつではありますが、確実に勉強に取り組む姿勢が変わってきました。この学年は宿題忘れ等で何かと先生に叱られる子も多く、診断テストの成績を見ても、パツとしない成績の子が目立ちます。そこで、基本的なことを再度1から徹底して指導するようにしていま

した。2学期以降は、診断テストの勉強に対する意識付けを特に重点的に行いました。前は予想問題を全く勉強していない子もいましたが、今では学校が終わってから塾に予想問題を勉強しに来る子もいるほどです。その結果として、少しずつですが点数が上がってきました。努力は必ず報われるということを知り、勉強を少しでも楽しいと思えるきっかけになってくれたらいいと思います。これからがとても楽しみです。

最後に6年生。この学年は39人という全教室でもダントツの人数を活かして、適度な競争心を保ちながらお互いに競い合っています。2クラス編成のため、診断テストで上位半分に入れなければ、下のクラスになってしまうシステムです。真ん中の層の子達は、上位クラスに入るために毎月みんな必死です。常に上位クラスをキープしている子達は、1つでも上の順位になれるように頑張っています。特にトップ5ともなると、毎月370点のラインを超える場合がほとんどなので、非常にハイレベルな中で競い合っています。また、上位クラスには入れなくても、自分なりに一生懸命頑張っている子達もいます。良い成績を取ることでも大事ですが、一番大切なのは、自分で決めた目標に向かって努力し続けることです。成績が良い子達ばかりではなく、こういった子達を褒めてあげることも非常に大切だと思います。一人一人の子供達と向き合いながら、彼らが持つ可能性を最大限に引き出してあげられるように、先生達もまた一緒に努力していきます。自分の思っていた制服を着ることができるようもうひと踏ん張りです。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

本当に実力が伸びる 冬期講習の受講の仕方

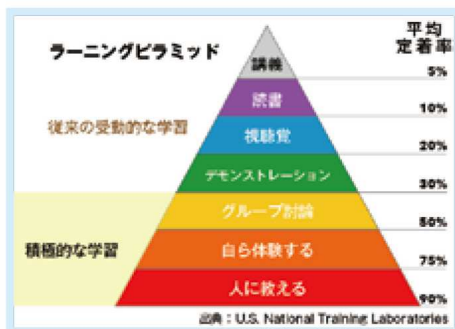
小田 忠 (統括教室長)

あと2週間もすれば「冬休み」が始まります。ご存知のとおり、冬休みは「イベント」という名の「誘惑」が本当に多いです。

クリスマス・大晦日・お正月・お年玉など…。皆さんが楽しみにしているイベントが目白押しです。しかし逆に、いや、だからこそ、自分の弱点を克服し、自分の実力UPにはこの上ない絶好のチャンスです。

そこで、カイチでは今年も冬期講習を実施します。学校の授業が「0」になる長期休暇の間にしっかりと復習を行うことで、積み残し箇所を克服すれば、3学期の学習、ひいては新年度の学習へスムーズに入ることが出来ます。ですから、しっかり取り組み、効果があるような講習会にしたいと思っています。

ところで皆さん、ラーニングピラミッドというのをご存知でしょうか？
下記の表をご覧ください。



上記の表はラーニングピラミッドと言う学習定着率の指標です。何と、今まで授業といえば講義形式が当たり前でしたが、これでの学習定着率はたった5%。残念ながら、ただ一方的に話を聞いているだけの講義のような受動的学習では、成績は上がらないのです。成績を上げるには積極的学習が必要になるのです。この積極的学習をどうすればいいかは学校教育でも問題になっており、現在アクティブラーニングと言う形で導入がどんどん進められています。

カイチの今回の小4～中2の冬期講習会、夏期講習同様、集団指導とフリーラーニングシステムによる個別弱点对策システムのハイブリッド方式。集団指導では中1・2生は英語と数学、小学生は国語(小6は英語)と算数を講習会テキストを使用し、単元学習を行い、実力強化をはかります。

それでは、どのように冬期講習を受講すれ

ば成績は伸びるのでしょうか？

ポイントは2点

- 1 先生の質問に対しては、自分が当てられている問題でなくても、常に考えて答えることができる準備をしておくこと
- 2 問題演習ではどんな問題に対しても、手を汚して必死に考えること

1 について

カイチの授業は双方向型授業です。先生は授業中にどんどん質問し、生徒の皆さんには積極的に授業参加を促しています。この時に「自分は当てられていないからいいや」と言って、考えていないことがあるならば、それでは成績は伸びません。常に自分が当てられているという気持ちで「答えはこれだ」と心の中で言いながら、授業に臨んで下さい。そうすることにより、授業がラーニングピラミッドで言う「自ら体験する」ということになり、学習定着率が一気に高まります。

2 について

そして、講習会ではテキストの問題演習、フリーラーニングでの問題演習と多くの演習時間を設けています。フリーラーニングシステムは教科主任が作成した発見テストを行い、誤答箇所をコンピュータに入力することで、コンピュータが生徒各自の弱点箇所を分析、対策問題として出題し弱点の完全克服を目指すシステムです。

先生は問題演習の時間中、机間巡視を行い、生徒達の理解度をチェックしていきます。成績を伸ばすために、問題演習は講義以上に重要だと考えています。限られた時間の中で手を汚して1問でも多く問題を解き、理解を深めて下さい。また、この際にわからない所は遠慮せず質問して下さい。成績が伸びる生徒の条件は質問が多いことです。是非とも、この2つのポイントを意識して冬期講習に取り組んで下さい。

あと、小6生はこの冬期講習から本格的に英語がスタートします。公立高校入試において、平成29年度入試(現中2生)より、英語の入試が難化することが発表されており、英語の実力強化は欠かすことができません。冬期講習では中1の1学期中間テスト内容まで指導していきます。「始めよければ終わりよし」

という言葉に見られるように、何事も「最初」は肝心。丁寧にわかりやすく指導していきますので、頑張ってください。

中3の冬期講習はいよいよ志望校合格に向けてのラストスパート!! 私立高校の過去問演習、解説を中心にやっていきます。

この冬期講習では、試験当日に落ち着いて自分の100%の実力を発揮できるように、実践的な訓練を数多く積んでいきます。問題を解いて、わからないところをチェックし、見直しながら覚える事が効率の良い方法です。一度間違えて覚えなおした事はなかなか忘れず直前に覚えた事ほど忘れないもの。最後まで諦めずに取り組む事が重要です。

合格のイメージを膨らませて講習に取り組んで下さい。

先生達は「あの時もっとやっておけば…」そんな後悔は絶対にさせたくありませんし、させる気はありません。先生達は全員が第一志望校に合格できるように、全力で指導にあたります。「進学した高校で人生が変わる」と言う人がいます。もちろん、その一面はあると思います。しかし、それよりも志望校合格を目指して「どんな努力をしたか」「どれだけ頑張ることができたか」は、その後の人生を大きく変えます。

皆さんにとって、最高の講習会になるように頑張ります!!

最後に昨年度の受験生の冬期講習の声を紹介しておきます。

中学校生活最後の冬期講習が始まりました。
まだ最後というだけあって緊張は少しあり、29日
気持ちを入れ替え、勉強に打ち込み、その日の終了
中学3年生としての4年間の時間がいよいよ思ふ
1日1日の勉強の積み重ねが、この講習会では
その内容を勉強し、自分の力で解くこと。
初日に、大規模な模試と理科で理科の授業が、
その後は長年続いていた授業です。
冬期講習では中1の過去問をたくさん解いてやり直しをして、
そうしていくうちに中2の内容が頭に入ってきたりして、
理科の過去問をやるたびに点数が上がり、勉強が
はかまりました。特に理科は過去問でよく受かった。
そのおかげで、1日1時間の講習で自分の実力を
冬期講習の受け手としての気持ちで頑張りました。

中3 1さん
・第1回進研模試 偏差値53 冬期講習後
・第6回進研模試 偏差値61 東高校(英語科)進学

COLUMN: 先生紹介 ▶ 高木 奈穂子 (古市教室)



こんにちは。古市教室の高木奈穂子です。今回のコラムは私が担当いたします。このコラムの原稿を書いているのが、10月末です。

皆さんの手元に届くころにはずいぶん寒くなって、街中が年末らしく慌ただしくなっていることでしょう。慌ただしいと言えば、私達珠算部の先生達にとって、最大のイベン

ト、「カイチ珠算競技大会」が毎年12月に行われますが、その練習に余念がありません。11月初旬から各学年の代表を決める予選会が行われ、各学年5名を選出するのですが、やはり1位、2位で通過するのは段位や1級の子供達です。そこは可能性のある子供達ばかり。級通りに選出されず、下位級から選ばれることもしばしばあります。恐らく不安で一杯のはずですが、ここで気後れすることなく、上位級の子供達と共に腕を磨いてほしいと思います。同じ学年の友達があんなにすごい速さでそろばんをおいている。あんな桁の暗算ができる。初めはきっと、嫌に

なって「選ばれるんじゃないか。」と思うかもしれません。でも、その教室で選ばれた立派な「選手」。競技会当日に、入賞はできなかったものの、他のみんなの真剣さに触れ、その後の普段の練習が見違える程の上達を見せた子供達がたくさんいます。選手に選ばれたら、あなたはその教室の代表です。結果はどうであれ、自分に自信を持って、「絶対入賞してやるんだ!」という意気込みで臨んでほしいと思います。



高木の ちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE 高木 直也 (諸口教室)

完成「カイチだけ」の社会科問題集

ことの始まりは、9月初旬、来年の社会科のカリキュラム(授業の進行予定表)の作成の件で塾長、小田先生との打ち合わせをしていた時。突然塾長から「来年これさえやれば、偏差値60取れるって問題を作ってほしい。」「たくさん種類じゃだめだ。勉強する生徒の気持ちも考えて、20種類くらいにとどめなさい。」という要望を受けたことからでした。

社会の教科書は一冊当たり300ページ前後。地歴2冊分、計約600ページ分、20種類の問題に集約するというのはなかなかの難題。ただ、カイチにしかないものを作りたいと常に考えていた私は、早速その日の晩にとりあえず1種類作成してみることに。翌日の授業後、自主的に居残り勉強をしている生徒にやらせてみたところ、思いの外好評で、他の種類も

解きたいとの声も。その声に奮起し、休日、平日深夜に作成したものが受験生の手元にある「開智の必勝問題集」です。問題集には「わかっているはずだけど解けない。」「よく見る問題だけど解けない問題」を収録してあります。一見簡単そうで解けない。そういう問題に仕上がっています。社会なんて無理と思ってしまい、手も足も出ない受験生はまずこの問題集をやきましょう。配布されて一か月、早々と仕上げた生徒は学校、塾のテストでめきめき点数を上げてくれています。中には半月で10以上偏差値を上げた生徒も。では、高得点を上げた生徒が問題集しかしていないのかといえばそうではありません。

ただ、答えを丸暗記するのではなく、問題集で間違えたところをもとにノートに復習したり、そこから派生して自分で違う単元を勉強していたことが大きな成績アップを生むポ

イントだと思えます。

まずはこの問題集をどんどん解いて、いろんな勉強にもチャレンジしてみましょう。そうすれば偏差値60どころの話ではなくなるはずです。中学3年生は受験まで3カ月を切りました。生徒達の志望校合格への姿勢、気迫が目を追うごとに強く感じ始めました。先生達も更なる気迫で、皆さんの志望校合格への思いに答えられるよう頑張ります。悔いなく全力を出せるように最後まで一緒に頑張ってください。

ちなみに現在「開智の必勝問題集」の次回作(発展編(仮))を作成中です。今の問題集をやり切っていたらと発表できないので、次回作が早めに発表できるようにどんどん解き進めてください。



カイチからのお知らせ

- 12月19日(土)はクリスマス会です。時間については後日お知らせを配布します。当日、得点券をお持ちください。
- 12月21日(月)(今福・関目・諸口小4・6) 22日(火)(諸口小5)は小学診断テストを実施します。
- 12月21日(月)・22日(火)は中学診断テストを実施します。
- 珠算・パスカルキッズは年内の授業は12月22日(火)で終了となります。
- 小学部の冬期講習を12月26日(土)~29日(火)、1月5日(火)・6日(水)で実施いたします。
- 中1・2の冬期講習を12月24日(木)~29日(火)、1月5日(火)・6日(水)で実施いたします。
- 中3の冬期講習を12月24日(木)~29日(火)、1月5日(火)~7日(木)で実施いたします。
- 進研模試を中学部1月9日(土) 9時~13時30分、小4生 1月9日(土) 14時~15時45分 小5・6生 14時~16時45分で実施いたします。
- 1月8日(金)より通常授業がスタートです。珠算・パスカルキッズはこの日が新年度の授業始めとなります。